

「ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方」見直し等に係るタスク・フォースにおける
CSTI第一次報告(平成30年3月)以降の検討経緯

【平成30年5月14日】第108回専門調査会 / 第7回タスク・フォース(合同開催)

これまでの検討結果について

今後の検討課題について

【平成30年6月25日】第109回専門調査会 / 第8回タスク・フォース(合同開催)

有識者ヒアリング

1) 石井 哲也 北海道大学安全衛生本部教授

「ヒト生殖細胞系列遺伝的改変の規制」

2) 山田 満稔 慶應義塾大学医学部助教

「ヒト胚(受精卵)を用いた臨床と研究の現状」

3) 阿久津 英憲 国立研究開発法人国立成育医療研究センター研究所 生殖医療研究部長

「ヒトES/iPS細胞を用いた疾患研究について」

論点についての検討について

【平成30年7月27日】第110回専門調査会 / 第9回タスク・フォース(合同開催)

有識者ヒアリング

1) 松原 洋一 国立研究開発法人国立成育医療研究センター研究所長

「遺伝性難病の研究・診療の立場から」

2) 伊藤 たてお 日本難病・疾病団体協議会理事会参与

「科学技術は社会を発展させるが社会の状況によっては人類の幸福を大きく左右する」

論点についての検討について

【平成30年8月30日】第111回専門調査会 / 第10回タスク・フォース(合同開催)

タスク・フォースにおける検討の進め方について

【平成30年9月28日】第112回専門調査会 / 第11回タスク・フォース(合同開催)

タスク・フォースにおける検討の進め方について

【平成30年10月12日】第12回タスク・フォース

論点に基づく検討について

【平成30年11月19日】第13回タスク・フォース

有識者ヒアリング

1) 阿久津英憲 国立研究開発法人国立成育医療研究センター研究所 生殖医療研究部長

「ヒト受精卵を用いたゲノム編集利用研究について」

2) 石原 理 埼玉医科大学 産科婦人科学 教授

「HFEA (Human Fertilisation and Embryology Authority) について」

3) 後藤 雄一 国立研究開発法人国立精神・神経研究センター メディカル・ゲノムセンター センター長

「ミトコンドリア病における核置換技術について」

論点に基づく検討について

【平成 30 年 12 月 26 日】 第 14 回タスク・フォー

有識者ヒアリング

- 1) 八代 健太 京都府立医科大学 大学院医学研究科 解剖学教室 教授
「ヒト受精胚にゲノム編集を用いる、遺伝病の病態解明等に資する基礎的研究について」
- 2) 堀田 秋津 京都大学 iPS 細胞研究所 臨床応用研究部門 主任研究員 / 特定拠点講師
「ヒト受精胚にゲノム編集を用いた病態解明基礎研究の可能性について」
- 3) 伊川 正人 大阪大学 微生物病研究所・附属感染動物実験施設 教授
「動物胚ゲノム編集の現状」
論点に基づく検討について

【平成 31 年 1 月 31 日】 第 114 回専門調査会 / 第 15 回タスク・フォー(合同開催)

タスク・フォーにおける検討状況について

【平成 31 年 2 月 25 日】 第 16 回タスク・フォー

有識者ヒアリング

- 1) 原田久生 一般社団法人 全国ファミリー病患者と家族の会 会長
「難病診療の向上への期待」
- 2) 詫摩 雅子 日本科学未来館 プログラム企画開発課 科学コミュニケーション専門主任
「市民との対話から見てきたヒト胚へのゲノム編集技術利用の課題」
論点に基づく検討について

【平成 31 年 3 月 18 日】 第 17 回タスク・フォー

有識者ヒアリング

- 1) 石井 哲也 北海道大学 安全衛生本部 教授
「ヒト胚を取り扱う研究に関する意見書」
- 2) 勝木 元也 日本学術振興会 学術システム研究センター 相談役
「ヒト胚の取り扱いについて」
論点に基づく検討について
「ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方」見直し等に係るタスク・フォー」報告書(素案)について

【平成 31 年 4 月 15 日】 第 18 回タスク・フォー

有識者ヒアリング

- 1) 飯野 正光 日本医学会副会長 / 日本大学医学部 細胞分子薬理学部門 特任教授
「ヒト受精胚へのゲノム編集技術を用いる研究について(回答)」
論点に基づく検討について